



堀岡 敏喜 議員
公明党

問 防災先進都市を目指せ！

答 セミナー等の補助金考える

問 市の防災計画には自主防災会の推進とあるが、理想とする防災会の在り方は。

答 **総務部長** 自発的に目的を持った活動を行い、自ら課題点を解決し、地域コミュニティの活性化ができる組織。

問 自助啓発が基本である。トップダウン的な指導では自主性は育たない。市の認識は。

答 **総務部長** 自助の啓発を高め、対話の中で「どこに逃げる？」など「気づき」「動機づけ」の方がより高い効果がある。

問 事前防災は、地域活性化の側面もある。実務的な訓練と別に、お祭りの要素も加え、防災フェスなど企画しては。

答 **総務部長** 市主催としては考えていないが、自主防災会が自発的に行う機運が高まればと考える。

問 補助金制度を資機材だけでなく、セミナーなどソフト面でも使える制度に。

答 **総務部長** 講師を招

いてのセミナーなどの補助金見直しを検討する。



問 自治会活性化、行政の役割は

答 適切な後方支援で協働進める

問 自治会の活動における行政の役割を、市はどのように認識しているか。

答 **総務部長** 市としては、補完性の原理に基づき公共としてできることを住民の要請に応じて後方支援を行い、市民との協働の取り組みを進める。



自主防災

問 未加入世帯には「義務」ではなく「権利と必要性」を啓発する必要があると考えるが市の認識は。

答 **秘書企画課長** 地域コミュニティや自治会役員に共助の必要性を伝え、加入促進していく。

! 補完性の原理
決定や自治などのできる限り小さい単位で行い、できないことのみをより大きな単位の団体に補完していくという概念。

問 自主防災組織は自治会が基礎となっている。そうすると自ら求めない限り、非会員には必要な情報が届かないおそれがある。

市の広報や「議会だより」など市の刊行物は自治会を媒介して戸々に届けられているが、未加入の世帯には届かないのでは。

答 **総務部長** 自治会などから配布されない世帯は公共施設で入手するか、市のホームページで確認をしていただきたい。

